

2023 年 1 月 27 日（金）19:00～20:30

## 在宅医療介護連携推進のための研修会（リハビリネット部会）アンケート

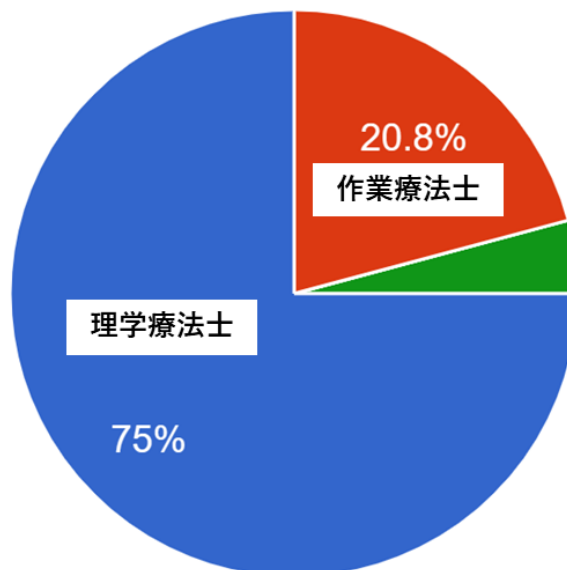
回答件数：24 件（回答率 89%）

## 職種：

理学療法士：75%

作業療法士：20.8%

その他：4.2%



## 所属：

ICU・急性期病棟：20.8%

回復期リハ病棟：8.3%

地域包括ケア病棟：12.5%

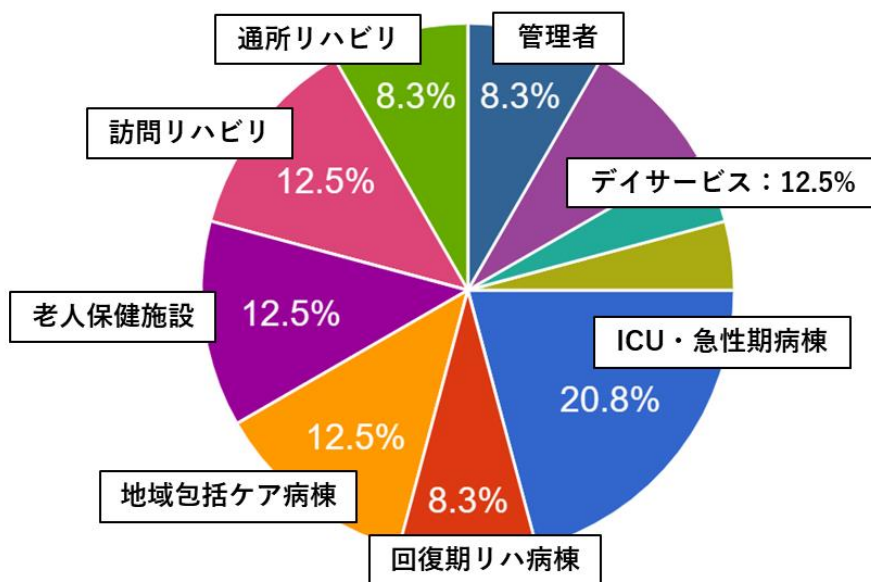
老人保健施設：12.5%

訪問リハビリ：12.5%

通所リハビリ：8.3%

管理者：8.3%

デイサービス：12.5%



在宅医療介護連携推進のための研修会（リハビリネット部会）アンケート

満足度：

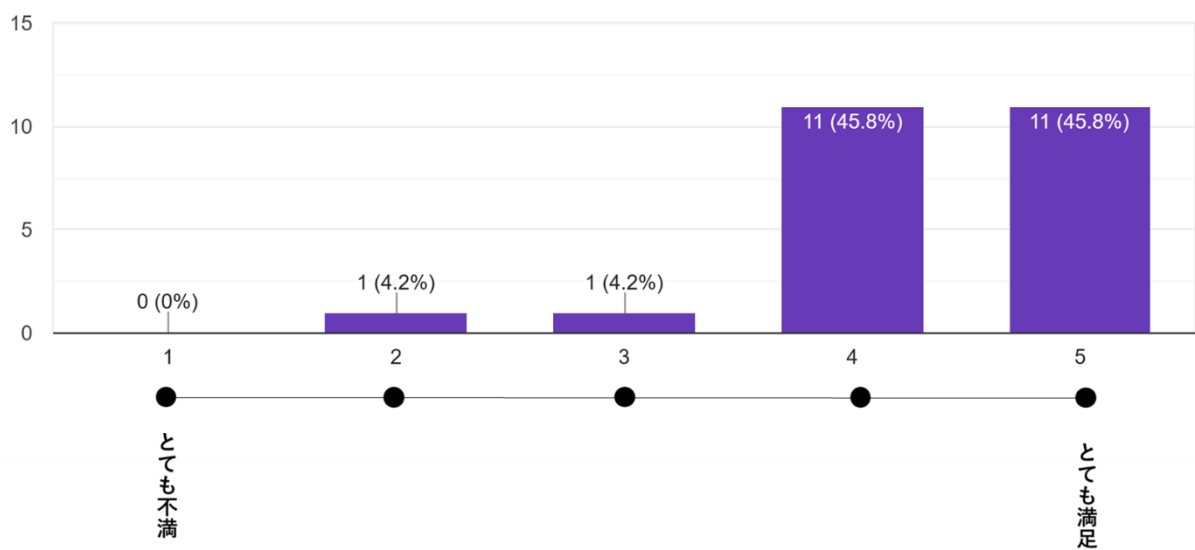
とても満足：45.8%

やや満足：45.8%

ふつう：4.2%

やや不満：4.2%

とても不満：0%



在宅医療介護連携推進のための研修会（リハビリネット部会）アンケート

今回の研修会を踏まえ、紹介状の活用に活かすことができそうですか？

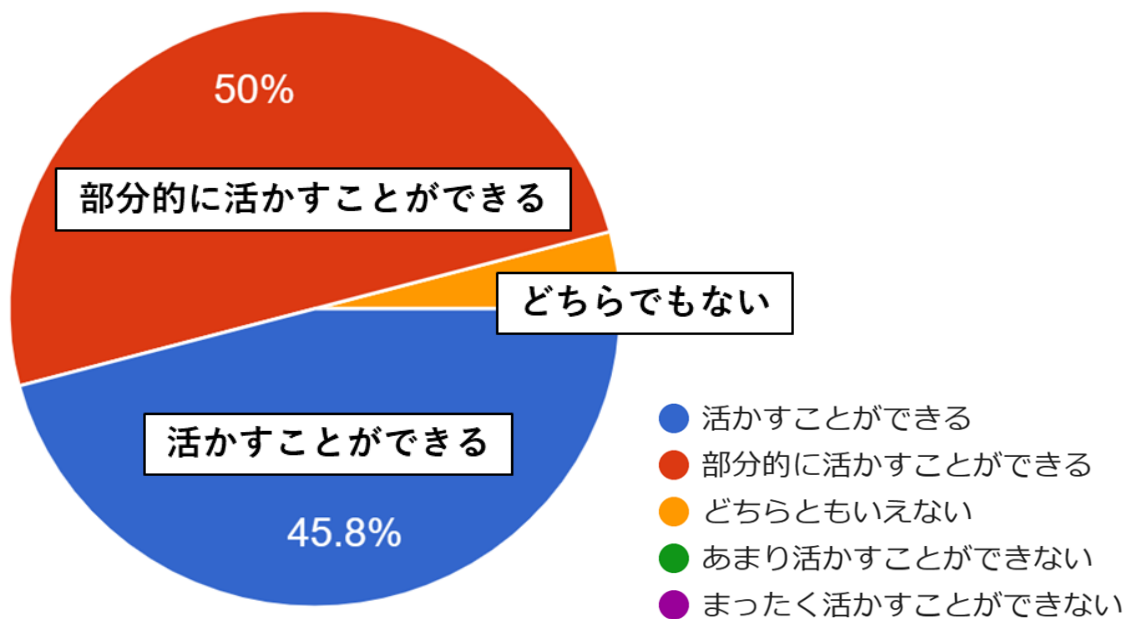
活かすことができる：45.8%

部分的に活かすことができる：50%

どちらでもない：4.2%

あまり活かすことができない：0%

まったく活かすことができない：0%



## 在宅医療介護連携推進のための研修会（リハビリネット部会）アンケート

### 研修会の内容に関してのご感想、ご意見・ご要望をお答えください（自由記載）

- ・顔をみながら実際こう思っている話ができて興味深く、とても楽しかった。
  - ・交流を行うことができることは非常によい。ディスカッション時間が短くもっと話せてもよかった。
  - ・小笠原さん、難題をうまく扱ってくれてありがとうございました！
  - ・双方の立場にたって考え直す、意見し合うことでわかっているようで分かっていなかったお互いの想いが伝えられてよかったと思いました。
  - ・さまざまな方からの意見があり、とてもためになった。
  - ・今までは項目を埋める作業のようになっていたように感じたが、この項目ができた背景を考えるいいきっかけとなった。今後は、その意図や自分の伝えたいことを意識しながらサマリー・紹介状を記載していこうと思った。
  - ・相手が何を求めているかも考えて、記載していかなければいけないと感じました。また 簡潔に記載ができるようにも努力していきます。
  - ・急性期、在宅などで話す視点に違いがあり、気づきを得られた。欲しい情報は多く、そこからいかにブラッシュアップするかが考え所でみんなで良いものを使って対象者のためになると良いと思った。
  - ・送り手と受け手の双方で望む情報が共有出来ただけでも貴重な機会だった。顔の見える関係性が、ともすれば内容いかにではなく施設間の情報共有をさらに活発にするものと願い、今後の地域での活動のモチベーションとして参ります。ありがとうございました。
  - ・病期によっての予後予測の違いがあったり、必要な情報も変わってくるので受け手の立場になって記載することを改めて意識していきたいと思いました。アイスブレイクがあることで話易さことができました。
  - ・紹介状という一つのツールで解決しようと思うと限界がある。紹介状以外も含めて連携していくことを大前提で考えていきたいと思った。「人生のレールの一部に関わっている」
  - ・多職種の考え方の共通部分について何となく理解が進みました。次回の会議までに自身の考えを整理してみます。
- 今後、情報提供をするにあたり、色々参考になりました。

### 2022 年度検討テーマに関する今後の方針

- ・2022 年 11 月に聴取した「紹介状の活用状況」アンケート結果と、本研修会（ワークショップ形式）での議論内容を踏まえ、紹介状の記載内容に関する一定の見解を出す予定。
- ・紹介状に加え、他の情報連携ツール（DX 化、サルビー見守りネット活用）の検討をする。